



里山復元による「憩いの場」づくり

しかだやましゅうへん

鹿田山周辺広域協定（群馬県みどり市）

- 群馬県東南部、渡良瀬川の大間々扇状地中央に位置する鹿田山中腹に広がる標高100～200mの畑地帯である。
- 近年、混住化や高齢化の進行により地域資源の保全管理に係る共同活動が低調化。
- 多面的機能支払交付金において、荒れた畦道のフットパス整備と耕作放棄地への菜の花の植栽を行うことにより、集落の協働意識を醸成。
- 平成29年度より、「鹿田山環境保全ネットワーク」、「上鹿田むらづくり推進協議会」、「大間々用水と地域農業を守る会」の旧3組織により「鹿田山周辺広域協定」を設立し広域活動組織となる。

【地区概要】

- ・取組面積 343ha（田75ha、畑268ha）
- ・資源量
開水路37.0km、パイプライン82.0km、
農道162.6km、ため池5箇所
- ・主な構成員
農業者、非農業者、水利組合、自治会、JA、土地改良区、老人会等
- ・交付金 約18百万円（H29）

〔 農地維持支払
資源向上支払（共同、長寿命化） 〕

活動開始前の状況や課題

- 元々は桑畑地帯であり、県営かんがい排水事業を契機に露地栽培（野菜）が進んだが、施設園芸のウエイトが高まり近年では農地余りの傾向が見られる。
- 急傾斜地など耕作条件の悪い桑畑は、伐根されないまま耕作放棄され、荒れ地化していたため、ゴミの不法投棄が頻発するなど耕作放棄地の解消が地域の緊急課題となっていた。



- 荒れ果てた畦道をフットパス整備により、集落の協働意識を高めることを第一段階とし、それから景観植物の植栽による耕作放棄地の解消と鹿田山の景観保全に繋げることとした。

取組内容

フットパスの整備



（鹿田山環境保全ネットワーク）

- かつて農家同士がお茶休みや話し合う場として利用していた畦道を復活し、集落コミュニケーションの形成に貢献している。

遊休農地の利用



（上鹿田むらづくり推進協議会）

- 多面的機能支払交付金の資源向上活動により、遊休農地を利用し、ひまわりを育て、「ひまわりの花畑まつり」を開催している。

取組の効果

- 平成18年度より取り組んできたフットパス整備は、全長4.1kmとなり、地域住民などの憩いの場として賑わっている。

ひまわりの花畑



（上鹿田むらづくり推進協議会）

- 「ひまわりの花畑まつり」には多くの来場者が訪れ、大いに賑わっている。また、秋に咲くひまわりは珍しいため、インターネットでの口コミも広まり、まつりの期間以外でも多くの観光客が訪れ、みどり市の観光地の一つとなっている。
平成28年の来場者：約24,000人